

聖人生き写しといわれる「鏡御影」、浄土真宗最高の宝

国宝 鏡御影

西本願寺 蔵

解説 宮崎圓尊

《完全複製》



国 宝 鏡 御 影

《完全複製》

■西本願寺 蔵

■解説 宮崎圓尊



特 徴

- 西本願寺の秘宝、親鸞聖人像「鏡御影」を原寸大完全複製いたしました。
- 聖人在世中、鎌倉時代似絵の大家として著名な藤原信実の子、専阿によって描かれた逸品です。
- 聖人に生き写しであるといわれ、「鏡御影」の名称が生まれました。
- 特色のある眉、優しさの中に光る眼ざし、特徴のある口元等、聖人の個性が力強い筆致で巧みに描かれています。
- 第三世覚如上人によって現在の掛幅にされ、画像上部には上人の筆で「和朝親鸞聖人真影」として正信偈の文四句がみられます。

《仕様・体裁》

- 軸寸法／天地一五一・〇 cm × 左右四七・〇 cm
- 印刷／コロタイプ多色刷
- 用紙／特漉鳥の子紙
- 柁目桐篭入
- 解説書／経折本